

150213 さあ、歌いましょう！



「おもちゃ病院」は、お友だちから話を聞いていました。ちょうど新聞にお知らせが載ったので、持って来ました。マイクをつなぐと、雑音ばかりがひどくて、声が出ません。」
(H27.2.22来院のお客様)



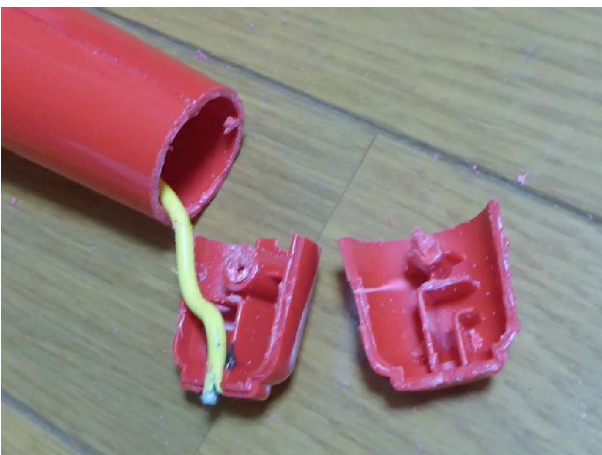
マイクコードの断線が明らかですが、マイク部分が分解できません。ネジではなく、内部の接着柱でガッチリと固定されています。お客様の許可を得て、末端部分を切断して分解します。



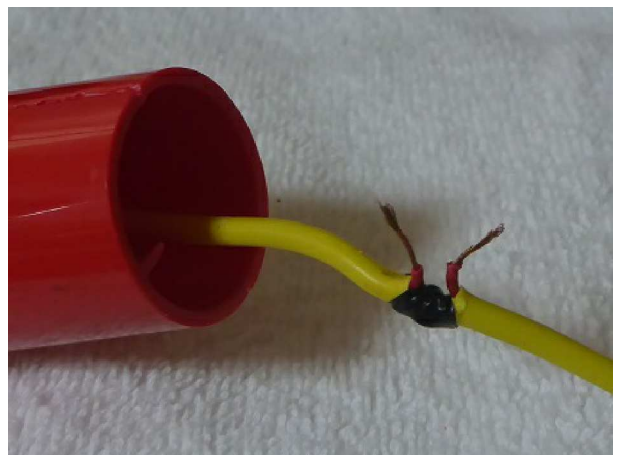
マイクの間中部や先端部にも、接着柱が見えます。今回、スイッチの点検はしないでおきます。プラスチックを割らないで、接着柱を外すのは、道具も自信もありません。



末端部の方は、ニッパーが届きましたので、思い切って、接着柱を挟み切ってみましょう。復元作業が大変だとは思いましたが、ここは「おもちゃを治したい。」というドクターの欲求が勝りました。



分解作業中にマイクコードは切らせていただきました。必ず、復活させますので、今しばらくお待ち願います。
なお、手持ちのラジカセ用ダイナミックマイクでは代用できませんでした。

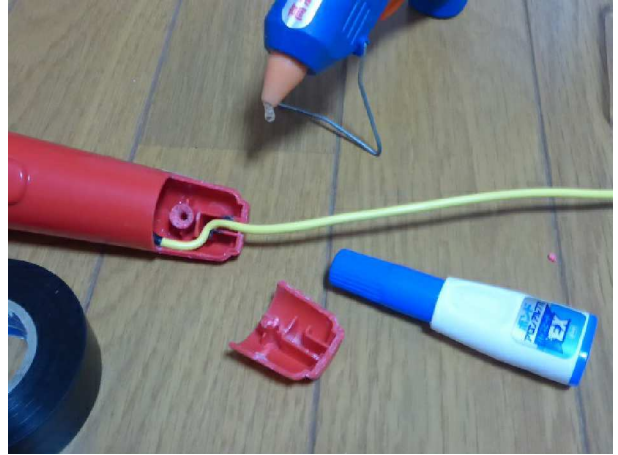


マイクコードは、先端部のコンデンサマイクへの給電を兼ねており、4.1ボルトの電圧が供給されています。タコ糸のような紐に沿って赤白の2本配線でした。それぞれ絶縁処理します。

150213 さあ、歌いましょう！



早速、マイクテストで動作確認して良好でした。さて、復元作業です。最初に切断した部分を縦に割った半分を瞬間接着剤で固定し、内側からも接着剤を流して固めます。



所定の位置にコードを収めたら、ニッパーで切った接着柱部分にホットボンドで盛り上げてから、手早く残りの半分の瞬間接着剤を取り付けようとしています。以後、撮影している暇はありません。



セロテープでカバーして、一連の復元作業を完了しました。慣れない作業で、失敗が許されないため、久々に緊張しました。このドキドキ感が何とも言えず、楽しい気持ちです。



分解に苦労した痕跡があちこちに見えます。今回、いい勉強をさせていただいた感謝を込めて、洗浄綿でいねいに拭いておきますが、このキズだけは補修しましょう。



すき間の両側に目張りをして、ポリ用接着剤を充填します。完全硬化後は弾力性のあるゴム状になるウルトラ多用途接着剤です。ただし、使用中は火気厳禁、換気に注意！！



修理完了後の全景、スタンドの高さは3段階に伸ばすことができます。真ん中のプレートは、おもちゃ名のシールが剥がれているので、「さあ、うたいましょう！」などのメッセージが書けます。